

# Br. Holdings Report



第20期 年次報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

証券コード：1726



滝沢川橋  
神奈川県定柄上郡山北町  
(新東名高速道路 秦野～御殿場間)



株式会社 ビーアールホールディングス



# 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々並びにご家族の方に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループ内の感染者は少数で、事業の進捗に影響なく無事に第20期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)を終了しましたので、その事業活動の概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長

藤田公康

## 新市場区分「プライム市場」移行と「JPX日経中小型株指数」への選定

当社は、新市場区分「プライム市場」上場維持基準に適合していることを確認し、本年4月4日の再編で誕生した新株式市場のうち「プライム市場」へ移行いたしました。

また、当社は、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の2021年度(2021年8月31日から2022年8月30日まで)の構成銘柄として選定されました。

構成銘柄の選定においては、時価総額や市場流動性指数、3年平均ROEと3年累積営業利益などの定量指標と、ガバナンスやディスクロージャーの観点から定性的な評価を加えたランキングで200銘柄を選定しています。

## 「持続可能な成長」は実現できるか

当社はコーポレートガバナンスコード改定を踏まえたガバナンス、独立社外取締役の充実や多様な価値観を有する人材の採用など

を実施しております。また、事業基盤である環境・社会問題など、サステナビリティをめぐる課題の解決に向け、サステナビリティ推進委員会を設置し積極的に取り組みを開始しております。

私共グループの生業はコンクリートの橋梁や床版の製造、施工となる為、サプライチェーンでのカーボンニュートラルは不可能であると言われてきました。使用セメント量削減に向け、置き換え可能な高炉スラグやフライアッシュは7~8年前から主な製品に採用してまいりましたが、現在ではジオポリマーコンクリート等の共同研究を各教育機関と進めております。その他、LCCO<sub>2</sub>削減に寄与する橋梁の長寿命化や自然石使用によるブランチブロック工法など、製品・施工の多様化を推進しています。また、CO<sub>2</sub>の吸収源となる人工藻礁などの研究も開始しています。

## 働き方改革と健康経営優良法人の認定

当社グループは、持続的な成長及び働き方改革に取り組むため、生産性向上が不可欠と

判断し、「工期短縮」「品質向上」を目的として、生産設備の更新、施工性向上のためにICT技術を活用した技術開発を実施してまいりました。また、社員のワークライフバランスの実現に向け、DX推進により長時間労働を抑制し、ゆとりある休暇の取得等に取り組んでまいりました。その結果、経済産業省より「健康経営優良法人2022」に認定されました。今後とも従業員とその家族の健康を積極的にサポートし、健康経営に取り組んでまいります。

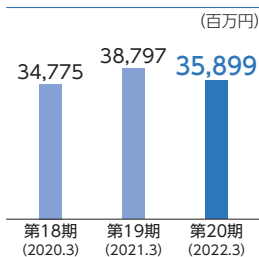
当社グループの業績は、ほぼ当初計画どおりとなりましたが、前年同期からは減少しております。しかし、ここ1~2年PC工事発注量は順調に増加している為、持続的な成長を維持できるものと考えています。

今後も、株主の皆様のご期待にお応えできるよう、環境対策や技術開発を積極的に推進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

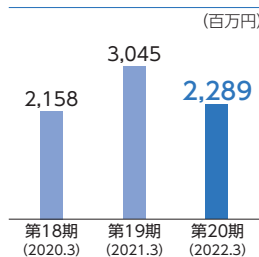
2022年6月

## 連結財務ハイライト

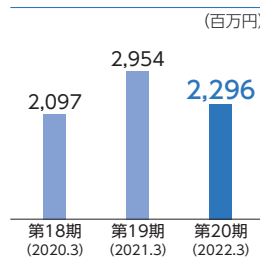
### ●売上高



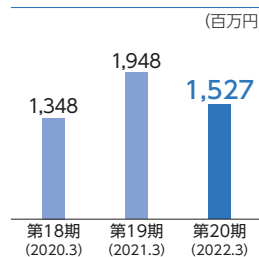
### ●営業利益



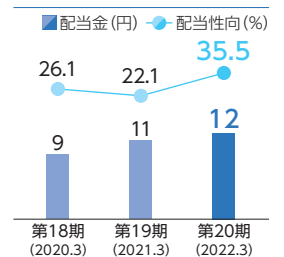
### ●経常利益



### ●親会社株主に帰属する当期純利益



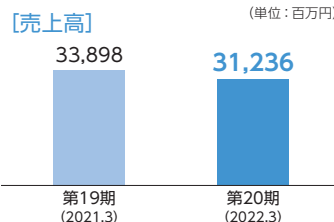
### ●配当金/配当性向



## セグメント別の概況

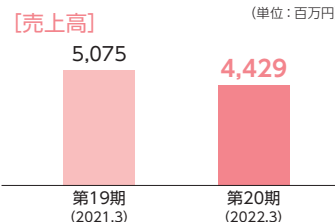
**建設事業**  
橋りょう土木工事の設計・施工

売上高 312億36百万円  
前年同期比 7.9%減



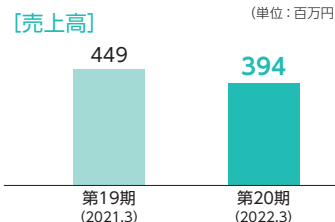
**製品販売事業**  
コンクリート二次製品の販売

売上高 44億29百万円  
前年同期比 12.7%減



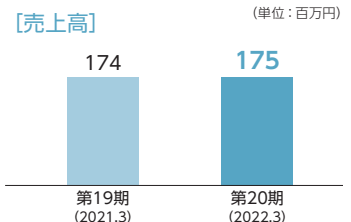
**情報システム事業**  
システム開発・販売

売上高 3億94百万円  
前年同期比 12.3%減



**不動産賃貸事業**  
当社ビルのマンション賃貸運営等

売上高 1億75百万円  
前年同期比 1.0%増



(注) セグメント間取引を含めております。



Topics

1

## 下小国橋上部工工事 〈福島県 伊達市〉

[極東興和株式会社]

下小国橋は、復興支援道路の一環として整備された相馬福島道路の霊山～福島区間に架橋した橋長130.0mのPC2径間Tラーメン桁橋です。

相馬～福島を繋ぐ主要な道路であり、交通障害の解消や安全で信頼性の高い道路網の構築、観光振興への寄与を目的として整備を進められ、2021年4月24日に開通しました。



Topics

2

## 大槌漁港橋梁上部工工事 〈岩手県 上閉伊郡 大槌町〉

[東日本コンクリート株式会社]

本工事は地元大槌漁港内に設置された津波避難誘導施設に接続するアプローチ橋とスロープ橋の上部工工事です。アプローチ橋は津波影響区間に位置するため浮力影響が少ない中空床版橋を採用し、スロープ橋は人工地盤から現地盤までの摺り付けを行うプレテンション方式スラブ桁橋を採用しています。

この施設を利用することで水産業従事者を始め漁港に訪れるすべての人が迅速かつ安全に津波から避難することを可能とします。



Topics

3

## 庄内川橋 床版取替工事 〈愛知県 春日井市〉

[極東興和株式会社]

本工事は、東名高速道路名古屋IC～春日井IC間の庄内川橋および神領橋において、床版取替や鋼桁の塗替などを実施した工事です。

当該区間は、1968年に開通してから50年以上が経過し、経年劣化や交通量の変化による厳しい使用環境により老朽化が進展した為実施されました。



Topics

4

## 下泊里橋(基礎工)災害復旧工事 〈大分県 玖珠郡 玖珠町〉

[極東興和株式会社]

「令和2年7月豪雨」により、上部工の流失などで被災した下泊里橋の復旧工事です。残留した橋脚を活用するために補強を行いました。桁下での低空頭作業が可能であり、狭隘な施工現場や搬入路にも対応できるSTマイクロパイル(タイプ1)が採用されました。





「人と人」「技術と技術」の橋渡し

当社グループはパブリックカンパニーとして地域に根差した活動を大切にしています。地元子どもたちによる橋面お絵描き大会から高校生・大学生を対象とした見学会や体験学習まで、様々なイベントを通じて地域への関心・建設業への興味を深めてもらえるよう日々活動しています。

畑口川橋現場見学会 〈京都府 綾部市〉 極東興和株式会社



地元小学生によるお絵描き大会を開催

橋長46mのPC2径間連結プレテンション方式床版橋の新設工事です。舞鶴和知線との取り合いを含む交差点の改良を併せたバイパス整備の一部の工事であり、通過交通であった本橋からバイパス道路に転換し、地域の良好な通行環境の確保が期待されます。

北条高架橋現場見学会 〈鳥取県 東伯郡 北栄町〉 極東興和株式会社



本工事は、鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい長瀬から東伯郡琴浦町梶下を結ぶ延長13.5kmの自動車専用道路の中間部に位置します。写真は、発注者様若手職員の現場見学会の様子です。

浦宿橋上部工工事現場見学会 〈宮城県 牡鹿郡 女川町〉 東日本コンクリート株式会社



地元の学生を対象とした現場見学会の様子



一般県道石巻女川線の浦宿道路改良事業に伴う、女川町万石浦を渡架する橋梁です。現道区間は大雨により度々冠水することから、安全で円滑な交通確保を目的としてバイパス整備が計画されました。5径間連続箱桁橋324mのうち、221.7mを張出架設工法で施工しています。上空には女川原子力発電所に通電している高圧線が2箇所横断しており、制約された中での作業となりました。また、下部工事も当社で施工しており、上・下部共に当社が携わる橋梁となりました。

表紙写真について

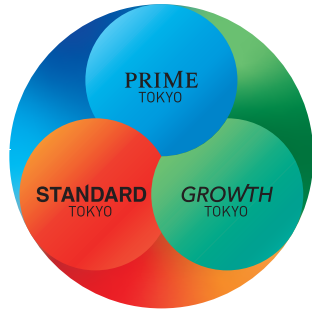
▶ 滝沢川橋 〈神奈川県 足柄上郡 山北町〉

滝沢川橋は、新東名高速道路の秦野～御殿場間における上下線計4橋の、PC連続ラーメン箱桁橋の新設工事です。既存の東名高速道路と比べ、カーブや坂道がゆるやかなため、渋滞発生の減少・交通事故発生率の低下・災害発生時の物流の安定供給が期待されます。



## 新市場区分、始まる

1  
1,841



### プライム市場を選択した会社(1,841社)

- CGコード改訂を踏まえた一段高いガバナンス(取締役会・英文開示等)への取り組み、流動性の一層の向上のための売出、事業ポートフォリオの積極的な見直し、親子上場の解消など積極的な動き
- 上場維持基準に適合していない296社は、基準適合に向けた計画を開示し、成長戦略の実施による企業価値向上、政策保有株縮減や自社株消却等による流動性改善に取り組む

### スタンダード市場を選択した会社(1,477社)

- 市場第一部上場会社のうち344社が、自社の事業環境や経営戦略等を踏まえ、企業価値向上に向けて自社に最適な市場区分として選択
- JQスタンダード上場会社は、新たにコーポレートガバナンス・コード全原則への対応に取り組む

### グロース市場を選択した会社(459社)

- 新たに「事業計画及び成長可能性に関する事項」を開示し、今後の成長に向けた施策に取り組む

## 当社の方向性

### 取締役会の機能発揮

- 独立社外取締役3名、各取締役のスキル公表、指名・報酬委員会の設置

### 企業の中核人材における多様性の確保

- 人材育成方針と環境整備方針を整備
- 性別や国籍で区別せず多様な価値観を有する人材の採用
- 2022年3月末時点で外国人6名、女性89名、中途採用132名

### サステナビリティをめぐる課題への取り組み

- 基本的方針の取り組み開示
- TCFDに基づく気候変動開示の充実

### その他

- グループ全体を含めた内部統制やリスク管理体制を構築

## 2021年の

## コーポレートガバナンス・コード改訂のポイント

### ●取締役会の機能発揮

企業が求める取締役会のスキルと、各取締役スキルとの対応関係の公表

### ●企業の中核人材における多様性の確保

外国人、女性、中途採用者などの管理職の多様性確保に関連する、測定可能な自主目標の設定など

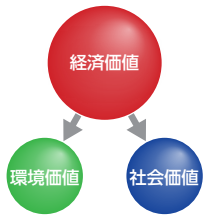
### ●サステナビリティをめぐる課題への取り組み

サステナビリティについて基本的な方針の策定など

etc.

## サステナビリティの考え方の変遷

### ▶第1世代(～1980年代)



### ▶第2世代(1990～2000年頃)



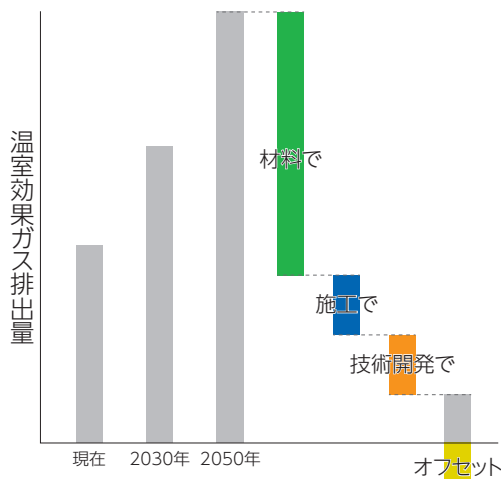
### サステナビリティの時代へ

### ▶第3世代(2000年～)



サステナビリティの時代は  
事業基盤である環境・社会を  
維持・増強しながら、  
経済活動としての  
事業を持続的に成長させる

## 2050カーボンニュートラルの実現に向けた考え方



- ▶高炉スラグ
- ▶フライアッシュ
- ▶工場でのプレキャストコンクリート化などのセメント置き換え可能な材料使用によるCO<sub>2</sub>排出量削減
- ▶再生可能エネルギー・低燃費建設機械の使用などの対応でCO<sub>2</sub>排出量の削減
- ▶K-LIP工法による建造物の長寿命化
- ▶ブランチブロック工法による自然石使用
- ▶ジオポリマーコンクリートなどCO<sub>2</sub>削減に関する大学との共同研究などの技術でLCCO<sub>2</sub>(ライフサイクルCO<sub>2</sub>)排出量の削減
- ▶ポーラスコンクリートを使用した人口藻礁
- ▶森林保全、再生可能エネルギー事業への参画などによるCO<sub>2</sub>の吸収源の拡大



会社概要		(2022年3月31日現在)
商号	株式会社 ビーアールホールディングス Br.Holdings Corporation	
設立	2002年9月27日	
本社所在地	広島市東区光町二丁目6番31号	
電話	082-261-2860(代表)	
資本金	4,813,847,000円	
決算期	3月31日	
従業員数	11名(連結592名)	

代表者及び役員		(2022年6月17日現在)
代表取締役社長	藤田 公 康	
取締役	石 井 一 生	
取締役	山 根 隆 志	
取締役	天 津 武 史	
取締役	山 縣 修	
取締役・常勤監査等委員	田 坂 昌 博	
取締役・監査等委員(社外)	小 田 清 和	
取締役・監査等委員(社外)	佐 上 芳 春	
取締役・監査等委員(社外)	三 浦 房 紀	

株式の状況		(2022年3月31日現在)
発行可能株式総数	120,000,000株	
発行済株式の総数	45,795,000株	
株主数	42,009名	

#### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,427	9.80
トウショウアセットマネジメント株式会社	4,000	8.85
藤田公康	2,135	4.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,216	2.69
ビーアールグループ取引先持株会広島支部	996	2.21
広成建設株式会社	988	2.19
ビーアールグループ社員持株会	971	2.15
JP JPMSE LUX RE NOMURA INT PLC 1 EQ CO	886	1.96
株式会社三菱UFJ銀行	800	1.77
トウショウ産業株式会社	782	1.73

(注)持株比率は自己株式(622,596株)を控除して計算しております。

#### グループの概況

##### 極東興和株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/PC建造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート建造物の診断・補修・補強等

##### 東日本コンクリート株式会社

本社所在地/仙台市  
事業内容/PC建造物の設計・施工  
PC及びRC製品の設計・製造・販売等  
コンクリート建造物の診断・補修・補強等



##### キョクトウ高宮株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/PC製品及びコンクリート二次製品の設計・製造・販売・施工等

##### ケイ・エヌ情報システム株式会社

本社所在地/広島市  
事業内容/ソフトウェアの設計・開発及び販売等

##### 豊工業株式会社

本社所在地/大分市  
事業内容/PC及びコンクリート二次製品の製造・販売等

**株式会社 ビーアールホールディングス**  
Br.Holdings

広島市東区光町二丁目6番31号 TEL 082-261-2860 FAX 082-261-2861  
ホームページ <https://www.brhd.co.jp/> (IR情報を当社ホームページに掲載いたしておりますので、こちらからもご覧ください。)

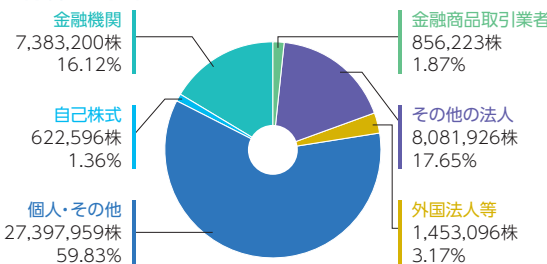
#### [株主メモ]

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-7777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)
公告の方法	電子公告により行う。 当社ホームページ( <a href="https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html">https://www.brhd.co.jp/ja/ir/announce.html</a> )にて掲載。 (ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

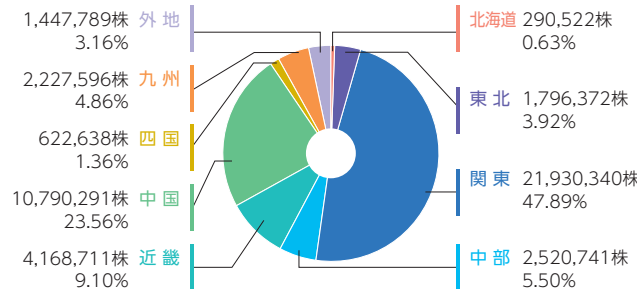
#### 株式分布状況

(2022年3月31日現在)

##### [所有者別株式分布状況]



##### [地域別株式分布状況]



(2022年3月31日現在)

